

第1回 港湾工事における設計段階からの新技術導入促進委員会
議事概要

日時：令和5年11月13日（月）13：00～15：00

場所：（一財）沿岸技術研究センター 別館 4F A会議室

出席者：善委員長、菊池委員、菅野委員、鈴木委員 他

1. 主な議事

- 事務局より、委員会の設置趣旨等について、報告を行った。
- 事務局より、設計段階からの更なる新技術導入促進に向けての今後の取組み内容（全国的に共通する現場ニーズの公表、現場ニーズに対応した技術情報の募集、技術カタログの策定・公表）について、報告を行った。

2. 主な意見等

【委員会の設置・技術カタログの活用について】

- ・設計段階から技術カタログを活用して、新技術の導入に向けた検討を行うことは良い取組である。
- ・技術カタログの情報について、活用実績等をフォローアップしていくことは重要である。
- ・直轄事業だけではなく、港湾管理者等に対しても技術カタログが広く活用されることを期待する。
- ・技術カタログの策定に合わせて、カタログの活用方法について、分かりやすく説明する資料等も整理した方が良いのではないか。
- ・技術カタログの実効性を高めるためには、将来的には、設計業務の発注時において、特記仕様書において新技術活用の検討を明示するなど、何らかの工夫が必要になるのではないか。

【現場ニーズ・技術カタログの内容について】

- ・現場ニーズについては、重要なものはどんどん提示していくべきではないか。
- ・現場ニーズについては、将来的には中長期的なニーズも公表できる方向で議論できれば良いのではないか。
- ・技術カタログで記載する従来技術との比較については、比較した際の条件を明示する等、具体的な記載内容にした方がより良いのではないか。
- ・設計段階からトータルコストでの比較やコスト以外の評価（施工時の安全性向上等の評価等）も考慮していく必要があるのではないか。
- ・施設を新設する際に採用を検討する技術情報なのか、供用後の補修等の際に採用を検討する技術情報なのか等の観点についても整理した方がより分かりやすくなるのではないか。